

第5回自治基本条例策定検討町民会議グループ討議結果

第1グループ意見

町民会議：三津橋会長、古屋委員、今井委員、小倉委員、西村委員

職員 PT：武田主幹 事務局：長岡主幹、木原主査

- ・情報公開条例・個人情報保護条例については特に問題はない。
- ・広報を全く読まない人もいる。そういう人にとっては単なるごみになる。経費削減のためにも全戸配布する必要性があるのか。
- ・HPでも見ることが可能なので希望者のみに配布することはできないのか。
- ・各戸に配布されるまでに時間がかかり情報がリアルタイムでない。
- ・文字が小さすぎて高齢者は見づらい。
- ・各世代別の情報などジャンル別の構成にはならないのか。
- ・住民ニーズの調査が必要ではないのか。
- ・期日が過ぎたお知らせが回ってくることもある。早く回覧するように公区へ要請すべき。
- ・防災無線は、冬は聞こえない。
- ・有効活用する方法はないのか。
- ・全戸で聞こえない、うるさい、聞きづらい。
- ・緊急性のあるものだけでいいのではないのか。
- ・緊急性のあるものは、商店街の放送設備を利用してはどうか。
- ・公区長会議は必要なのか。何を目的にしているのか。内容が公区住民に周知されない。
- ・地域で何かやろうとする時に、町に相談をしに行くと、町からは「公区を通してくれ」と言われる。それを受けて公区長の所行くと、「直接役場へ行ってくれ」と言われる。
- ・交通安全婦人指導員が通学路に毎朝立っているが、あれは本来、親や地域がやるべきものではないのか。税金を使って行うべきことではない。
- ・HPはとても大事。外から下川町を見るためには有効である。特にI・Uターンを考えている人にとっては有効である。
- ・住宅情報もあるといい。空きや情報の集約が必要。
- ・情報配信をするのではなく、必要な情報を町民が覗きに行く方法がいいのではないのか。
- ・「ぐるなび」のように商店の得々クーポンみたいなものがあれば消費拡大につながるのではないのか。
- ・テレビに字幕を流し、行政情報をお知らせできないか。
- ・ケーブルテレビを開局できないか。リアルタイムな情報を流せる。
- ・役場前の掲示板はどこにあるのか分からない。
- ・地域担当職員の実施はどうなっているのか。
- ・行政懇談会は、行政側がエライ人ばかりで話ができない。

- ・行政懇談会開催の基本的なルールが必要。
- ・サークル単位との懇談会もいいのではないか。
- ・各種審議会委員は無報酬でいい。その方がやる気のある人が集まりの真剣な議論になる。
- ・行政への意見は陳情、要望ばかり。

第5回自治基本条例策定検討町民会議グループ討議結果

第2グループ意見

町民会議：岡崎委員、小日向委員、濱下委員

職員 PT：市田主査 事務局：高橋課長、田村主査

- ・情報公開条例は特例事項で情報を出している。町民に対し情報を出すようにしている。これからは、行政から積極的に情報を出す必要がある。
- ・情報公開条例の内容はどんなものか分からない。
- ・利害関係者が多い。それ以外の情報は公開して共有すべき。
- ・情報を発信するとき、どの情報が必要なのか考えてしまう。
- ・個人情報とは非公開。住民基本台帳は閲覧できる。要検討。
- ・下川で請求する人はいるか？
- ・選挙人名簿は多い。
- ・広報は、写真の使い方が難しい。広報等でも気を遣う。
- ・広報の紙面構成が変わってきている。レイアウトから全て自己処理で行っている。
- ・広報の中で抽選とかやるとおもしろいのでは？読む人が増える。
- ・従来のお知らせが減り広報の中で対応するようになったが、このことをもっと PR すべき。
- ・広報は字ばかりより、絵が多い方が見やすい。身近に考えられる紙面作りを望む。町民と共に考えるような話題づくりを。キャラクターを作ってみては？
- ・「知恵の環」はどうか？答えが紋切り型で面白くなかった。もう一步踏み込んだ答えが欲しかった。広報の中で、意見、質問と答えが出てくると面白い。興味を引く。
- ・広報自体を町民が作っている町もある。町民が参加して作るページがあっても面白い。町民が関わることで広報自体も変わるのでは？
- ・広報以外では、信金 CD 機前の掲示板のようなものが効果はある。偶数月 15 日は年金を下ろすので良いらしい。
- ・人の流れをつかむ。人の流れを読む必要がある。
- ・防災無線はどうか？待っている人はいるかもしれない？
- ・おまつり、イベントの周知には使えないものか？使い方を工夫すれば良い。
- ・西興部のケーブル TV のようなものも良い。町民が年 1 回必ず出演するらしい。あのような補助事業に乗れないか？
- ・ラジオも効果的だと思う。下商高も地域 FM に出て PR している。
- ・情報配信は 37 件程度。配信内容が限定されている。関係者にしか分からない情報もある。
- ・教委と学校、役場とのつながりは？つながっていない気がする。小さな地域だから出来るものを探る必要がある。
- ・工事を施工する際、どこまで工事をいつまでやるのか広報必要。

- ・除雪、国道、道道、町道、それぞれ時間帯が違い段差が出来る。
- ・除雪は全部同じ条件でという話も出ている。
- ・おうるの看板、見づらい、格好が悪い。信号のところから入れるようになれば良い。もっと利用してもらえよう。
- ・上名寄の人たちはおいしいものを作っている。場所づくりをして盛り上げる必要がある。
- ・風連では花の苗を作っているところもある。年寄りの楽しみにもなる。
- ・空き店舗を利用し、野菜を売ってもいいのでは？
- ・年寄り向け、ジジババコンビニをやっている地域もある。年寄りの居場所づくりも重要である。
- ・先日、お年寄りが集まれる場所を作って欲しいがどこに聞いたら良いか？分からないという話を聞いた。役場職員に聞いたら、担当でないので分からない、商工会に行ったらと言われたと聞いた。
- ・お年寄りは気軽に集まれる場所が欲しいらしい。空き店舗を利用できたら良い。
- ・民間で始める。行政も応援できる場所もあると思う。
- ・バス券の金額が変り、五味温泉へバスで行く人が減ったらしい。
- ・まちづくりを自分たちで作っていくために、自分たちで事務局的なものが必要。会のようなものがあればいい。
- ・本日はノーカーデーというPRはできないか？目線が変り見えるものもあると思う。
- ・PRが重要。良いことをやっているのだから。
- ・カルチャーウィークエンドは良かった。特に町長室、議場開放は良かった。役場が身近な存在になった。
- ・来年は木工場、ゴミ処分場なども見せると良い。イメージが変る。
- ・ミステリーバスの的なものをやってはどうか？町内のあまり行ったことがないところに行く。鉱山がどうなっているか？行ってみたい気がする。
- ・公区長会議、実務者レベルの横の連携が必要だと思う。公区費も公区によって考え方がそれぞれ。横の話し合いの場があればいい。公区長間の情報交換があれば良い。
- ・公区活動に対し、無関心な人が多い。公区と町内会との違いは？
- ・町内会と行政委員の二面性がある。剣淵町も町内会に変更している。自治会となると格差が出てくる。
- ・格差があるところに地域担当職員が入っていく。補助金やノウハウなど一緒に出来る。
- ・各種説明会は職員が出向いて話をすることが良いと思う。
- ・先進地では、年間スケジュールが決まっている。事業をやるときにしかやっていない現状である。
- ・仲間単位、小さな単位だと話を聞きやすい。話しやすい。
- ・行政懇談会、課長職が並んでいて話しぶらい。